

FROM HAND TO HAND

手から手へ展

絵本作家から子どもたちへ 3.11後のメッセージ

今、私たちは子どもたちのあしたに
なにを約束できるだろう？
今、私たちは子どもたちのあしたに
なにを届けることができるだろう？
世界から、日本から
絵本作家たちが寄せる希望のメッセージ。
まだ間に合うかもしれない。
子どもたちの笑い声がいつまでも、
この大地に、この空に響きますように！



2013年10月26日(土) - 12月23日(月・祝)

会場：日本新聞博物館2階 企画展示室

○開館時間 10:00~17:00(入館は16:30まで) ○休館日 月曜日(祝日・振替休日の場合は次の平日)

特別
展示 ライブペインティングによる共同作品「絵本作家たちのゲルニカ」
あべ弘士、スズキコージ、降矢奈々、ベテル・ウフナル、松成真理子、ミヒヤエル・ゾーヴァ

 日本新聞博物館
The Japan Newspaper Museum

〒231-8311 神奈川県横浜市中区日本大通11 横浜情報文化センター内
TEL:045-661-2040 FAX:045-661-2029 <http://newspark.jp/newspark/>

主催：東京新聞、日本新聞博物館、共催：手から手へ実行委員会、日本国際児童図書評議会(JBBY)／後援：神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、tvk(テレビ神奈川)、絵本学会、スロバキア共和国大使館、スロバキア郵政／協力：ちひろ美術館／協賛：あすなろ書房、岩崎書店、岩波書店、偕成社、金の星社、くもん出版、グランマ社、クレヨンハウス、講談社、佼成出版、朝北社、集英社、小学館、鈴木出版、セーラー出版、大日本図書、チャイルド本社、童心社、西村書店、のら書店、BL出版、福音館書店、フレーベル館、PHP研究所、ブロンズ新社、文芸堂、文研出版、ポプラ社、ほるぷ出版、マイティブック、光村教育図書、共同印刷、愛企画センター、絵本の家、ギャラリービブリア、講談社フェーマススクールズ、こどもの本専門店エルマー、子どもの本屋ビビン、日本文化センター・Amsterdam、文化カラー出版

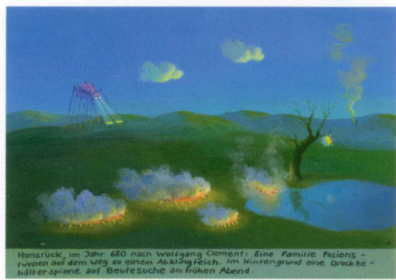
FROM HAND TO HAND 手から手へ展

絵本作家から子どもたちへ 3.11後のメッセージ

「手から手へ展」公式サイト
<http://handtohand311.org>



「手から手へ展」は、日本の絵本作家たちが中心となり、「3.11後の世界から私たちの未来を考える」というテーマで世界の仲間たちに呼びかけて作品を募った展覧会です。震災1年後の2012年3月から、最初の呼びかけで集まった56人の作品が、イタリアのボローニャを皮切りにヨーロッパ5か国を巡回し、想いを届けてきました。2013年、新たな呼びかけに応じて、さらに多くの絵本作家が加わり、総勢7か国110人の作品が集結。未来を生きる子どもたちへの想いをこめた作品をご覧ください。



ミハエル・ゾーヴァ「核融合するイモムシ家族一家」2011年



降矢奈々「内部爆発」2012年



のだよこ「そこにもむけて」2012年



大畑いくの「No Nukes」2012年

出品作家(110人) あおきひろえ、青山友美、あべ弘士、荒井良二、アンヴィル奈宝子、飯野和好、石井聖岳、石田菜々子、市居みか、伊藤秀男、いとうひろし、いまいあやの、いまきみち、いわむらかずお、植田真、おーなり由子、大畑いくの、岡田千晶、おくはらゆめ、梶浦聖子、片山健、かとうまふみ、きたむらさとし、きたやまようこ、久保貴之、黒田征太郎、小柏香、児島なおみ、小林敏也、こみねゆら、酒井駒子、坂田季代子、ささめやゆき、篠原晴美、スズキコージ、そのだえり、瀧根進史、武田美穂、高島純、高島那生、田島征三、田島征彦、たしろうちと、田畑精一、たなか鮎子、田中清代、垂石真子、たんじあきこ、tupera tupera(亀山達矢・中川敦子)、出久根育、どいかや、洞野志保、長野ヒデ子、西村繁男、のだよこ、長谷川義史、はたこうしろう、浜田桂子、早川純子、ふしはらのじこ、藤本将、降矢奈々、降矢洋子、堀川理万子、松成真理子、松本春野、三浦太郎、宮沢ゆかり、村上康成、八木民子、山内ふじ江、山田真奈未、山福朱実、山本孝、和歌山静子、渡辺美智雄、渡邊智子、内田麟太郎、木坂涼、富安陽子/イゴル・ピアチカ、カタリーナ・スランコヴァー、ジョルト・ルカーチ、ダーヴィト・ウルシニ、ノエミ・ラーツォヴァー、ベテル・ウフナル、ベテル・ソイカ、マルティナ・マトロヴィチョヴァー、マレク・オルマンジーク、ミロスラウ・レギトコ、ユライ・マルチシュカ、ユーリア・ピアチコヴァー、リュボスラウ・パリヨ(スロバキア)/ヴァレリア・ヴァレンツァ、ヴィットリア・ファッキーニ、ダヴィデ・ロンガレッティ&田隅真由子、フィリップ・ジョルダノ(イタリア)/ミハエル・ゾーヴァ(ドイツ)/クラス・フェルブランケ、トム・スコーンオーヘ、ヒド・ファン・ヘネヒテン(ベルギー)/アレックス・デ・ウォルフ、イヴォンヌ・ヤハテンベルフ、ハリエット・ヴァン・レーク、ヒッテ・スパー、ヨーケ・ファン・レーウェン、ワウター・ヴァン・レーク(オランダ)/アーサー・ピナード(アメリカ)

関連イベント

※当館の入館料が必要です。内容や時間は変更する可能性がありますので、下記お問い合わせ先ホームページをご参照いただくか、お電話でご確認ください。

- | | |
|---|--|
| <p>① 東京新聞フォーラム「絵本の子カラー—3.11後の私たちの生き方」</p> <p>パネリスト：第1部 降矢奈々、マライ・メントライン、ミハエル・ゾーヴァ
 第2部 あべ弘士、那須田淳、はたこうしろう、降矢奈々、ミハエル・ゾーヴァ</p> | 10/26(土) 13:00~16:00 |
| <p>② 講演会「古くならないニュース」</p> <p>講師：アーサー・ピナード、木坂涼</p> | 11/15(金) 14:00~16:00 |
| <p>③ 絵本コンサート</p> <p>出演：中川ひろたか</p> | 11/23(土・祝) 14:00~16:00 |
| <p>④ ギャラリーツアー</p> <p>講師：手から手へ実行委員会
 ※作家・翻訳家・編集者など絵本関係者で構成される実行委員会による作品解説。事前申し込みは不要です。会場(2階企画展示室)の入り口にお集まりください。</p> | 11/3(日・祝)、11/17(日)、
12/1(日)、12/15(日)
いずれも14:00~14:30 |

①②③会場

日本新聞博物館2階 ニュースパーク・シアター

①②③定員

各回120人(事前申し込み制)

聴講料

①と④は無料です。②と③は、別途聴講料500円をいただきます。

お問い合わせ先

- ①東京新聞フォーラム：東京新聞企画事業部
 TEL:03-6019-2509(平日10:00~18:00) <http://www.tokyo-np.co.jp/forum/>
- ②講演会と③絵本コンサート：日本新聞博物館
 TEL:045-661-2040(開館時間内) <http://newspark.jp/newspark/>

日本新聞博物館
 The Japan Newspaper Museum

〒231-8311
 神奈川県横浜市中区日本大通11
 横浜情報文化センター内
 TEL:045-661-2040
 FAX:045-661-2029
<http://newspark.jp/newspark/>

入館料：一般・大学生=500円 高校生=300円 中学生以下=無料
 ※ファミリー料金(土・日曜日、祝日)=中学生以下同伴の保護者1人で400円 / 中学生以下同伴の保護者2人で500円 / 中学生以下同伴の保護者3人目以降は1人400円 ※シルバークリニック(65歳以上)=400円 ※リピーター料金(前回の入場券提示)=100円引き ※団体料金(20人以上)=100円引き ※障害のある方とその付添者1人は無料です(手帳等をご提示ください) ※割引の併用はできません ※20人以上の団体、バス駐車場利用の場合は事前にお申し込みください。

交通アクセス

○みなとみらい線「日本大通り」駅 3番文センター口直結 ○JR根岸線・横浜市営地下鉄「関内」駅 徒歩10分 ○横浜営バス「日本大通り駅東庁前」バス停 徒歩1分 ○首都高速「横浜公園出口」車3分

